

ディリー・ジーザス・ニュース #184

後期ユダヤ教宣教：イエスは弟子たちにパリサイ人の真似をしないように警告する

イエスはパリサイ人と律法学者たちに「災い」を告げる

ルカ11.42-54

42 「あなたたちパリサイ人は災いを受けます。ミントやヘンルーダ、その他あらゆる野菜の十分の一を神に捧げる習慣がありながら、正義と神への愛を常に無視しているからです。あなたたちは正義を軽視することなく、神への愛を実践すべきでした。

43 あなた方パリサイ人は災いである。会堂で上座に座り、市場で敬意をもって迎えられるのを好むからである。

44 「あなた方は災いである。あなた方は、人々が気付かぬうちに勝手に歩いていく、墓石のない墓のようなものである。」

45 律法学者の一人がイエスに答えて言った。「先生、あなたはそんなことを言うと、わたしたちをも侮辱することになります。」

46 イエスは答えた。「あなたたち律法学者たちよ、あなたたちは災いである。あなたたちは人々に、彼らが負いきれない重荷を常に負わせながら、自分自身は彼らを助けるために指一本動かそうとしないからだ。」

47 「あなた方は災いである。あなた方は預言者たちの墓を建てているが、彼らを殺したのはあなた方の先祖である。48 ですから、あなた方は先祖の行いを是認していると証言していることになります。先祖は預言者たちを殺し、あなた方は彼らの墓を建てているのです。」

49 それゆえ神はその知恵によってこう言わされました。「私は預言者や使徒を彼らに遣わすが、彼らはそのうちの何人かを殺し、他の何人かを迫害するだろう。」

50 「それゆえ、この世代は、世の初めから流されたすべての預言者の血に対して責任を負うことになる。51 アベルの血から、祭壇と聖所の間で殺されたザカリヤの血に至るまで。そうです、あなたたちに言います、この世代はすべての責任を負わされるのです。」

52 「律法学者たちよ、あなたたちは災いである。知識のかぎを取り去ったからだ。あなたたち自身は入らず、入ろうとする者たちを妨げたのだ。」

53 イエスが外に出られると、パリサイ人や律法学者たちは激しく反対し、質問攻めにし始めた。54 彼が何か間違ったことを言って、それを捕まえようと待ち構えている。

=====

デイリー・ジーザス・ニュース #184

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ =^{MT}、マーク=^M、ルカ=^L、ヨハネ=^J、使徒行伝=^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します。** 旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ユダヤのパリサイ人の家で
タイムライン	10月または11月 (33、34か月目)
イエスの生涯の文脈	第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教
	D. イエスはユダヤで宣教し、弟子たちを訓練する
	2. イエスは弟子たちにパリサイ人の真似をしないように警告する
タイトル	v. イエスはパリサイ人と律法学者たちに「災い」を告げる

コメント：

今日の朗読の中で、イエスはパリサイ人と律法学者たちに六つの「災い」を告げました。「災い」とは、悔い改めない個人や集団に必ず破滅が訪れるという預言です。イエスはパリサイ人と律法学者たちに、彼らの偽善がもたらす結果を警告することで、愛を込めて真理を語られました。

以下はイエスがパリサイ人に警告した具体的な偽善的な態度のリストです。

#1 律法の最も重要な戒めを無視して、細かい戒めに従うこと。 (11.42)

#2 人々からの称賛に酔いしれていた彼らは、実際には神を辱めていた。 (11.43)

#3 自分の罪を隠すことによって人々のつまずきとなる。 (11.44)

#4 偽りの口実で神への従順を困難にする。 (11.46)

#5 自分たちの例を通して神への不従順を助長する。 (11.47-48)

#6 他者の服従を積極的に妨げる。 (11.52)

ルカが福音書にイエスのこの悲劇的な「災い」のリストを記したのは、私たち皆が同じように偽善に陥りやすいからです。結局のところ、従順の祝福はイエスの弟子たちにとって貴重なものです。神に従うことには熱心であればあるほど、傲慢さに根ざしたこれらの罪に陥りやすくなります。パリサイ派の宗教的党派はもはや存在しません。パリサイ派的な態度と罪は、イエスが再臨されるまで私たち皆を苦しめるでしょう。

ディリー・ジーザス・ニュース #184

より具体的に言えば、これらの六つの罪は指導者にとって特に危険です。バランスの取れていない靈的リーダーシップに陥るのは容易なことであり、これはイエスが挙げた問題1の本質です。あるいは、自分が仕える人々から称賛や賞賛を喜ばない指導者などいるでしょうか？そこからすぐに問題2、つまりプライドへと移行してしまいます。問題5も同様に危険です。なぜなら、私たちが聖性において成長し続けるためには、人生のどこかで罪を克服しようと奮闘する必要があるからです。これらの罪は、パリサイ人が靈的な交わりとして消滅した後も消えることはなく、今日でも私たちを苦しめています。

応用：

すべての弟子は、このリストに照らし合わせて、自分の心と生活を定期的に点検するとよいでしょう。聖靈に靈的な目を開き、自分自身の盲点に気づいてくださるよう熱心に祈ることは、神と他者を愛することにおける、特に指導者にとってよくある失敗に対して、警戒を怠らない姿勢の第一歩です。

これらの態度のうち、あなた自身の弱点となるのはどれでしょうか？

その傾向をどう克服しますか？

イエス様との関係が深まるにつれ、神はあなたをこれらのどれから救い出してくださいましたか。